

鳳仙

発行
桐生 山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311-1177
E-mail: info@hosenji.or.jp

祠堂工事はよいよスタート

平成19年初秋の完成目指す

境内には、仮設道路。お参りの時にはご注意を

四月末に重機が通るための仮設道路用に、厚い鉄板と砂利が敷き詰められ、いよいよ小本堂の工事が始まりました。小本堂の完成は、下記議事録にありますように来年の九月中旬の予定でお待ちしております。菩提寺参拝や墓参の時に、工事の進捗の様子をご覧になってはいかがでしょうか。

工事車両にご注意

ただし、工事の様子をご覧になる際には、ぜひ危険のないように足下の鉄板や砂利に注意を払い安全な見学をお願いいたします。



工事車両が出入りします。足元にご注意。

ご寄付経過

祠堂新築のご寄付は、大変順調に進んでおります。申込み金額では、目標額に達しました。ありがとうございます。未だ

経過報告



の方は、一口八万円へ出来たら二口へ寄付して頂きますと、施主のお名前を彫った黒檀の先祖位牌(写真)を新築になりま

す祠堂へ安置させて頂きます。申込書式は、鳳仙寺ホームページのNew Pageで載せてあります。

○第一回会議 平成十七年三月十日 十二時より一時まで

○出席 下山晴夫、小此木秀夫、石原竹雄、池田伊佐男、坪井良廣

○総代挨拶 下山晴夫 肺炎で三週間入院等挨拶された

○任職経過説明 前回の新年会/世話人会の報告

輪藏・壇信徒館・鎮守三社などを配し、伽藍の規模は市内最大級である。

まず目に入る山門は、桐生市指定重要文化財、格調の高い禅宗様式の楼門で、均整が良く

とれ、雄大で豪華な優れた建築意匠を示すもので、桐生市域には類を見ない

大きさである。山門脇の鉄眼版一切経全六千七百巻を納めた「輪藏」、「本堂」、「梵鐘」も

桐生市指定重要文化財、

がされた。

○審議事項 設計図案について、大体の設計について別紙の通り説明された

○建設 企画委員選出について

○下記委員が選出された。小此木秀夫、太田享文、石原竹雄、池田伊佐男、田島輝雄、峯崎一男、桑子三喜男、下山晴夫、坪井良廣

○下山晴夫筆頭総代が辞任表明され、小此木秀夫氏が、時期筆頭総代に選出された。新総代に、峯崎一男氏が推薦され承認された。

○審議事項 地盤調査報告の説明があった。変更設計図案、平面図、全面図、側面図の説明がなされクーラーも計画にいろいろ要望された。趣意書について、工事概要について。寄付について。

○第三回会議 平成十七年五月十七日 沼田迦葉山 中峰堂を見学。

○第四回会議 平成十七年六月二十八日 十二時より十三時三十分まで。

○前回見学経過説明、迦葉山見学報告、天井絵報告がされた。

○審議事項 地盤調査報告の説明があった。変更設計図案、平面図、全面図、側面図の説明がなされクーラーも計画にいろいろ要望された。趣意書について、工事概要について。寄付について。

○審議事項 設計図案について、大体の設計について別紙の通り説明された

○建設 企画委員選出について

○下記委員が選出された。小此木秀夫、太田享文、石原竹雄、池田伊佐男、田島輝雄、峯崎一男、桑子三喜男、下山晴夫、坪井良廣

○下山晴夫筆頭総代が辞任表明され、小此木秀夫氏が、時期筆頭総代に選出された。新総代に、峯崎一男氏が推薦され承認された。

○審議事項 地盤調査報告の説明があった。変更設計図案、平面図、全面図、側面図の説明がなされクーラーも計画にいろいろ要望された。趣意書について、工事概要について。寄付について。

○第三回会議 平成十七年五月十七日 沼田迦葉山 中峰堂を見学。

○第四回会議 平成十七年六月二十八日 十二時より十三時三十分まで。

○前回見学経過説明、迦葉山見学報告、天井絵報告がされた。

○審議事項 地盤調査報告の説明があった。変更設計図案、平面図、全面図、側面図の説明がなされクーラーも計画にいろいろ要望された。趣意書について、工事概要について。寄付について。

○審議事項 設計図案について、大体の設計について別紙の通り説明された

○建設 企画委員選出について

○下記委員が選出された。小此木秀夫、太田享文、石原竹雄、池田伊佐男、田島輝雄、峯崎一男、桑子三喜男、下山晴夫、坪井良廣

○下山晴夫筆頭総代が辞任表明され、小此木秀夫氏が、時期筆頭総代に選出された。新総代に、峯崎一男氏が推薦され承認された。

○審議事項 地盤調査報告の説明があった。変更設計図案、平面図、全面図、側面図の説明がなされクーラーも計画にいろいろ要望された。趣意書について、工事概要について。寄付について。

○第三回会議 平成十七年五月十七日 沼田迦葉山 中峰堂を見学。

○第四回会議 平成十七年六月二十八日 十二時より十三時三十分まで。

○前回見学経過説明、迦葉山見学報告、天井絵報告がされた。

○審議事項 地盤調査報告の説明があった。変更設計図案、平面図、全面図、側面図の説明がなされクーラーも計画にいろいろ要望された。趣意書について、工事概要について。寄付について。

○審議事項 設計図案について、大体の設計について別紙の通り説明された

○建設 企画委員選出について

○下記委員が選出された。小此木秀夫、太田享文、石原竹雄、池田伊佐男、田島輝雄、峯崎一男、桑子三喜男、下山晴夫、坪井良廣

○下山晴夫筆頭総代が辞任表明され、小此木秀夫氏が、時期筆頭総代に選出された。新総代に、峯崎一男氏が推薦され承認された。

○審議事項 地盤調査報告の説明があった。変更設計図案、平面図、全面図、側面図の説明がなされクーラーも計画にいろいろ要望された。趣意書について、工事概要について。寄付について。



風景賞の額写真



風景賞の額写真

本堂裏の五輪塔は「由良成繁の墓」で桐生市指定史跡であり、境内は文化財の宝庫でもある。

この豊かな自然と歴史ある空間を活用し、コンサートなどのイベントが催されており、文化活動並びに地域開放にも積極的である。

○審議事項 趣意書について、工事概要について、寄付割当について。以上読み合わせ、内容検討がなされた。一部訂正、要望があり承認された。要望は、次回建設委員会にて検討することとした。

○審議事項 趣意書について、工事概要について、寄付割当について。以上読み合わせ、内容検討がなされた。一部訂正、要望があり承認された。要望は、次回建設委員会にて検討することとした。

○審議事項 趣意書について、工事概要について、寄付割当について。以上読み合わせ、内容検討がなされた。一部訂正、要望があり承認された。要望は、次回建設委員会にて検討することとした。

○審議事項 趣意書について、工事概要について、寄付割当について。以上読み合わせ、内容検討がなされた。一部訂正、要望があり承認された。要望は、次回建設委員会にて検討することとした。

○審議事項 趣意書について、工事概要について、寄付割当について。以上読み合わせ、内容検討がなされた。一部訂正、要望があり承認された。要望は、次回建設委員会にて検討することとした。

○審議事項 趣意書について、工事概要について、寄付割当について。以上読み合わせ、内容検討がなされた。一部訂正、要望があり承認された。要望は、次回建設委員会にて検討することとした。



お盆新聞に趣意書を同封することになった。寄付期間は、二年間、寄付申し出期間は今年中締め切り。領収書、概要等寄付募金資料は、お盆終了後役員さんに配布。

○第六回会議 平成十七年九月二日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 盆中の寄付申込み報告の件。寄付会計報告の件。寄付お願書書類の確認の件。総代世話人会開催の件。

○第七回会議 総代世話人会 平成十七年九月二十二日 十時より十二時三十分まで。

○審議事項 盆中の寄付申込み報告の件。寄付会計報告の件。寄付お願書書類の確認の件。寄付お願書書類の確認の件。総代世話人会開催の件。

○第八回会議 平成十八年四月七日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 報告の件。「入金、支出」報告の件。位牌契約の件「契約金支

払いの件」。工事進捗状況報告の件、終了日確認。宅造工事業者の件。開山堂等残す部材の検討。建物の落慶式は平成十九年十月十六日に決定。東陽通商との位牌契約書・手付け金の確認を行った。既存建物解体・土地整備・擁壁工事業者として渡辺工業を指名する。開山堂の保存箇所を出席者・池田設計と確認した。天井絵の寄進者氏名は、絵自体の品位に影響を与えない大きさで入れるよう、文字の大きさ・色などを決定していくこととなる。

○第九回会議 平成十八年五月二十六日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 工事進捗状況報告の件。建築確認の件「池田設計」。開山堂等解体の件。開山、兩祖仏像修理の件。山門上釈迦修理の件。建物解体について。屋根瓦は手おろしで、墓地の空きスペースに一時保管。既存建物にて使用していた石や部品を選び保存。開山堂の解体は四・五日で終え、六月末までには擁壁工事が終了予定。消化設備について。屋内型は高額である為、パッケージ型消化機器を屋外の見えない場所に設置する事に。開山、兩祖仏像・釈迦修理の件：再度検討して再度見直しも出しても

○第十回会議 平成十八年六月十日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 報告の件。「入金、支出」報告の件。位牌契約の件「契約金支

払いの件」。工事進捗状況報告の件、終了日確認。宅造工事業者の件。開山堂等残す部材の検討。建物の落慶式は平成十九年十月十六日に決定。東陽通商との位牌契約書・手付け金の確認を行った。既存建物解体・土地整備・擁壁工事業者として渡辺工業を指名する。開山堂の保存箇所を出席者・池田設計と確認した。天井絵の寄進者氏名は、絵自体の品位に影響を与えない大きさで入れるよう、文字の大きさ・色などを決定していくこととなる。

○第十一回会議 平成十八年七月十日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 報告の件。「入金、支出」報告の件。位牌契約の件「契約金支

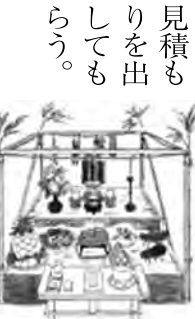
払いの件」。工事進捗状況報告の件、終了日確認。宅造工事業者の件。開山堂等残す部材の検討。建物の落慶式は平成十九年十月十六日に決定。東陽通商との位牌契約書・手付け金の確認を行った。既存建物解体・土地整備・擁壁工事業者として渡辺工業を指名する。開山堂の保存箇所を出席者・池田設計と確認した。天井絵の寄進者氏名は、絵自体の品位に影響を与えない大きさで入れるよう、文字の大きさ・色などを決定していくこととなる。

○第十二回会議 平成十八年八月十日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 報告の件。「入金、支出」報告の件。位牌契約の件「契約金支

払いの件」。工事進捗状況報告の件、終了日確認。宅造工事業者の件。開山堂等残す部材の検討。建物の落慶式は平成十九年十月十六日に決定。東陽通商との位牌契約書・手付け金の確認を行った。既存建物解体・土地整備・擁壁工事業者として渡辺工業を指名する。開山堂の保存箇所を出席者・池田設計と確認した。天井絵の寄進者氏名は、絵自体の品位に影響を与えない大きさで入れるよう、文字の大きさ・色などを決定していくこととなる。

○第十三回会議 平成十八年九月十日 十二時より十三時三十分まで。



お盆新聞に趣意書を同封することになった。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

○第十四回会議 平成十八年十月十日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 報告の件。「入金、支出」報告の件。位牌契約の件「契約金支

払いの件」。工事進捗状況報告の件、終了日確認。宅造工事業者の件。開山堂等残す部材の検討。建物の落慶式は平成十九年十月十六日に決定。東陽通商との位牌契約書・手付け金の確認を行った。既存建物解体・土地整備・擁壁工事業者として渡辺工業を指名する。開山堂の保存箇所を出席者・池田設計と確認した。天井絵の寄進者氏名は、絵自体の品位に影響を与えない大きさで入れるよう、文字の大きさ・色などを決定していくこととなる。

○第十五回会議 平成十八年十一月十日 十二時より十三時三十分まで。

○審議事項 報告の件。「入金、支出」報告の件。位牌契約の件「契約金支

払いの件」。工事進捗状況報告の件、終了日確認。宅造工事業者の件。開山堂等残す部材の検討。建物の落慶式は平成十九年十月十六日に決定。東陽通商との位牌契約書・手付け金の確認を行った。既存建物解体・土地整備・擁壁工事業者として渡辺工業を指名する。開山堂の保存箇所を出席者・池田設計と確認した。天井絵の寄進者氏名は、絵自体の品位に影響を与えない大きさで入れるよう、文字の大きさ・色などを決定していくこととなる。

○第十六回会議 平成十八年十二月十日 十二時より十三時三十分まで。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

お盆新聞に趣意書を同封することになった。

いま思うこと

副住職 坪井良樹

平成十五年三月より平成十八年三月までの三年間、曹洞宗の本山であります大本山總持寺へ修行に行つて参りました。

僧堂(修行道場)での生活は、坐禅で始まり坐禅で終わります。朝起きて洗面を済ませるとまず坐禅を行い、朝課(朝の読経)、朝食、日中は掃除などを行い



本山を去る最後の一步

修行と僧に厳しく指導を受け、加も大いに期待するところ

鳳仙寺「写経の会」

自然豊かな「鳳仙寺」で心を落ち着かせて写経をしてみませんか。

- ◇日時 九月二十四日(日) 十五時三十分～読経十五時四十五分 解散
- ◇参加費 千円
- ◇持参品 小筆(または、筆ペンでも可) プンチン
- ◇写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。
- ◇スケジュール 十三時～受付 十三時十五分～看経・瞑想 十四時二十五分～写経



お申し込み/お問い合わせは：鳳仙寺へ
〇二七七(三三)二七七(締め切りは九月二十二日まで)

ます。夜寝る前に学科や夜坐(夜の坐禅)を行って一日が終わります。毎日ほとんど同じ業の繰り返しで、業のすべてに細かな作法や進退が決められています。食事の仕方やトイレの使い方、お風呂の入り方、歯の磨き方までにも細かなルールがあります。最初は、これを覚えて行くのが大変で間違えると古参(先輩の修行僧)に厳しく指導を受け、加も大いに期待するところ

と「本堂でお経を読むこと」だけが修行ではありません。「食事をいただくこと」「掃除をすること」「廊下を歩くこと」毎日の生活すべて(一挙手一投足)が修行です。ですから、すべてのことに全力で取り組んでいきます。食事を取るときは一生懸命食事に集中する。その反面、体を休める時間をもらったら大いに休憩する。

組む。メリハリを持った生活を送ることの大切さを感じました。お山から下りて久しぶりにテレビを見ると、常識では考えられないような事件が世間をにぎわしています。最近、「いただきます」を言わないお子さんが



托鉢

るといふ話を耳にしました。「給食費を払っているのだから、子どもに「いただきます」と言わせないで欲しい」と学校に申し入れた母親がいたというのです。食事に對する対価を払ったから「いただきます」をいわなくてもいいというのをおかしいと思います。

また、「いただきます」にはもうひとつの意味があります。「あなたの命をいただきます」ということです。これは自分(人間)が生かされてもらうために動物や魚、野菜などの命をいただいで生きているのということを忘れてはいけません。「いただきます」「ごちそうさま」という感謝の



修行の仲間送られて

気持ちをもつて食事をしていただくように心がけたいものです。僧堂での三年間は長く厳しいものですが、ここで学んだことが日常生活でも実践できようから私も精進していきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



華道教室

鳳仙寺婦人会だより

鳳仙寺婦人会は来年度三十周年を迎えます。高齢化が進み若い方々の参加も大いに期待するところ



坐禅と朝粥の会の様子

ろです。現在、会員を募集中です。婦人会は色々な行事を行っています。八月には納涼会、九月二十四日には初めての写経の会を行います。これは護持会の皆様との共同企画になります。

寺報を利用して報告させていただきます。護持費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、一口三、〇〇〇円となっております。院号戒名の付いている家は、一口以上のお願いとなっております。

していただきました。また、御詠歌の入会も受付しておりますのでどうぞお気軽にお申し込みください。

お花(池の坊)のおさそい。毎月第一・第三木曜日・十三時三十分、申し込みは鳳仙寺まで 〇二七七(三三)二七七

坐禅と朝粥の会

毎月一日(正月を除く)朝七時より八時半まで坐禅と朝粥の会を行っています。(会費無料)



鳳仙寺護持会 会計報告

〔平成17年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕
平成17年4月1日～平成18年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,315,164	本山宗費	914,940
平成17年度護持会費	3,101,650	下水道保守管理費	80,120
銀行利息入金	1,355	郵便局払込手数料	6,771
		銀行手数料	315
		教区新年会費	25,000
		役員花輪代金	13,500
		火災保険共済	46,180
		17年度婦人会補助金	20,000
		関東管区大会補助金	70,000
		(支出合計)	(1,176,826)
		次年度繰越金	5,241,343
合計	6,418,169	合計	6,418,169

(繰越内訳=普通預金5,241,343円)

平成18年4月29日 上記の通り、ご報告申し上げます。

鳳仙寺護持会 総代 小此木 秀夫
会計 池田 伊佐男

桐生山 鳳仙寺
緑の林に囲まれた落ち着いた雰囲気です。ゆったりとした空間。里でお参りできます。

一般墓地
区画 30万円より (1坪/3.3㎡)

永代供養他園45万円
すでに亡くなった方の納骨のご相談も承っています。

葬儀費用 通夜から葬儀、初七日までの一切
成名・納骨式・御位牌
永代供養・墓碑書入れ
納骨堂使用管理費を含む

永代供養塔 (年会費、入壇料等は一切かかりません)

●上記は一般的な葬儀です。葬儀の内容・費用はご相談下さい。